



# 大森六中だより

令和4年 1月号  
大田区立大森第六中学校  
統括校長 菅野 哲郎  
TEL 3726-7155

冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、  
華々しく生まれる



新しい年を迎えました。始業式の朝、  
休み前と変わらない生徒の姿を見ることができてとても嬉しく思いました。

さて「今年の干支（えと）は？」と問われたら、「寅（とら）」は正解ではありません。干支とは「十干（じっかん）」と「十二支」を併せたものです。今年の十干は「壬（みずのえ）」、そして十二支が「寅（とら）」ですから「壬寅（みずのえとら）」が正解です。

十干は日を10日ごとのまとまりで表す甲乙丙丁戊己庚辛壬癸からなる、古代中国の数詞が起源です。これらは植物が成長し、土に還るまでを表す漢字と言われます。

そして、それぞれ万物の素の陽（兄「え」と陰（弟「と」として、

**木**（甲「きのえ」乙「きのと」）

**火**（丙「ひのえ」丁「ひのと」）

**土**（戊「つちのえ」己「つちのと」）

**金**（庚「かのえ」辛「かのと」）

**水**（壬「みずのえ」癸「みずのと」）

と読みます。

したがって、ごぞんじの十二支と掛け合わせて60通りの干支ができあがり、60年で一巡するため、60歳を還暦と言います。

ちなみに「甲子園」は甲子「きのえね」の年、1924年（大正13年）に竣工したことから名付けられています。

古代中国では、干支は暦や時間、方角など様々な分野で用いられていました

が、それが現代においても、暦で使われていることを不思議に思います。

さて、始業式で生徒会中央委員長杉田瑛麻さんの挨拶が素晴らしかったのでここに改めて紹介します。

「おはようございます。皆さんは有意義な冬休みを過ごせましたか。今日から3学期が始まります。1年生は、初めての中学校で新しいことがたくさんあったと思います。3学期は、その1年間の締めくくりの時期です。4月からは先輩となります。後輩の手本になれるよう、心の準備をしておきましょう。2年生にとっては、最高学年として六中の顔となるための準備期間ですね。今までの学校生活の中で先輩から学んだことを生かして、六中を引っ張っていけるよう、一人一人が自覚をもって過ごしていきましょう。3年生は、いよいよ受験ですね。悔いの残らないよう頑張ってください。また、3学期は中学生として過ごす最後の学期です。今までともに過ごしてきた仲間と、中学校生活を楽しんでください。やりたいことがたくさんあるとは思いますが、3学期は2カ月ほどしかありません。調べてみると、そのうち六中に通う日数は52日でした。2学期は80日だったので、3学期は2学期の3分の2です。たくさん笑って、いい思い出を作れるよう、一日一日を大切に過ごしていきましょう。また、昨年引き続き手洗い、うがいをし、体調管理に気を付けましょう。」

# 持続可能な社会の担い手づくり

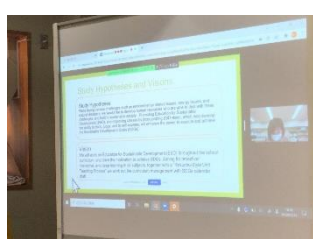
大田区立大森第六中学校 研修ユネスコ委員会

ユネスコスクールネットワーク (ASPnet) :  
アジア太平洋における SDGs 達成のための  
学校の役割に関する協働型アクションリサーチ

1月12日、ベトナム Tay son school との2回目の交流がありました。

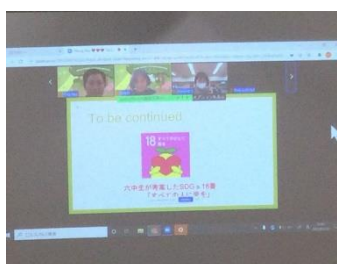
両校長挨拶、各教員からの学校の取組紹介、生徒による意見交流会が、時差2時間、およそ2時間半かけて、実施されました。

菅野校長より、現時点での新型コロナの状況、地球規模の課題である気候変動について COP26 (国際気候変動枠組み条約第26回締約国会議) を受けて環境教育の必要性を訴える冒頭のあいさつがあり、相手校の校長からも、ESDの必要性とお互いの交流を行えることの喜びを伝えていただき、今後もよい交流となるよう、ご挨拶をいただきました。



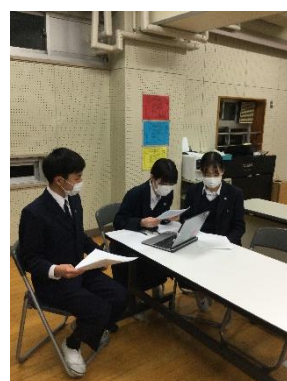
本校教員から ESD の取り組みについて川澄教諭が英語でプレゼンを行い、SDGs カレンダー、ESD の評価や授業の工夫について報告しました。ベトナム側では 30 人近くの方が参加しており、中学校だけではなく、ベトナムの教育委員会の方々も参加され、熱心に聞いていただいている様子が伝わってきました。

ベトナム側の報告では、環境教育に力を入れ、美術科、家庭科などの教科で環境ポスターや生物育成、エコ作品を制作することで、環境保全活動に力を入れていること



を発表されました。

生徒の発表では、本校生徒会役員が冬休みに特訓した英語によるプレゼンを完璧にこなし、六中の SDGs への取組について報告しました。ベトナムの生徒は日本語で活動の様子を発表くださり、驚かされました。生徒同士の討論の時間では次々と質問され、多少ドギマギする場面もあり、生徒のみならず、教員も多くの刺激を受けました。ベトナムでは具体的に環境保全のための行動を起こしていて、ごみ問題や森林伐採、プラスチック問題にとっても関心が強く、日本はどうしているのかを強く問われました。



本校の活動はかなり具体的な活動であると自負していましたが、外国の深刻な状況からすると、まだまだ考えが甘いような気がします。考えるだけではなく、実際に行動に移し、地球の持続可能性についてさらに、考えを深め、何かを始めなければいけないと感じます。

このような機会を与えてくださったユネスコアジア文化センターの方には感謝しかありません。

次回もまた交流しましょうと約束して会を終了しました。



# アンパンマンカップ（第1学年レク）開催

12月22日（水）5時間目アンパンマンカップが開催されました。学級委員10人が、企画・準備・運営を一手に担い、得点、ルール決め、なども頑張りました。種目は「借り物競争」「大縄」「全員リレー」の3つで、アンパンマンをかけて、各クラス正々堂々と戦いました。全員が、一生懸命走って、跳んで、応援して、歓声は青空に響き渡りました。本当に楽しく、あっという間の一時間でした。

<結果発表>

アンパンマン賞：1200 学級    メロンパンナちゃん賞：1400 学級    ドキンちゃん賞：1100 学級  
カレーパンマン賞：1300 学級    バイキンマン賞：1500 学級



## 一年生 美術出前授業

美術家の中塚文菜さんをお招きして作品が何を語っているのかを考えました。レシートを10メートル近くも貼り合わせ、その裏には逆さから描いた絵が並んでいる作品。レシートは、月日とともに薄くなり、絵を逆さから描けばひっくり返してみたとき、思いもかけないものが見えてくる。インディカ米の入ったビニール袋とインディカ米を削ってあたかもジュポニカ米のように加工したインディカ米の入ったビニール袋。なぜわざわざ削ったのだろう、どんな意味があるのだろうと考えてみる。・・・作者である中塚先生の意図と生徒たちが出した答えは似ている部分もあれば違っている部分もある。同様に、鑑賞者が作品から受け取ったものと、作者が表そうとしたことや伝えたいことが違っていてもいい、すべてが正解であると教えていただきました。作品の作者の思いを直接聞かせていただく貴重な体験をすることができました。



# 第2学年 社会科見学

2学期の12月、社会科見学として2年生が本所防災館に行きました。防災館では防災シアターでの動画鑑賞の他、地震・消火・都市型水害・煙を体験しました。大森六中では、そなエリアでの学習、まちなか点検、防災館での体験学習、学校防災訓練と3年間をかけて防災学習を行います。2年生も知識として知っている事はありましたが、この体験学習を通して、いざという時の行動について実践的に学ぶことができました。



<地震体験>



<消火体験>

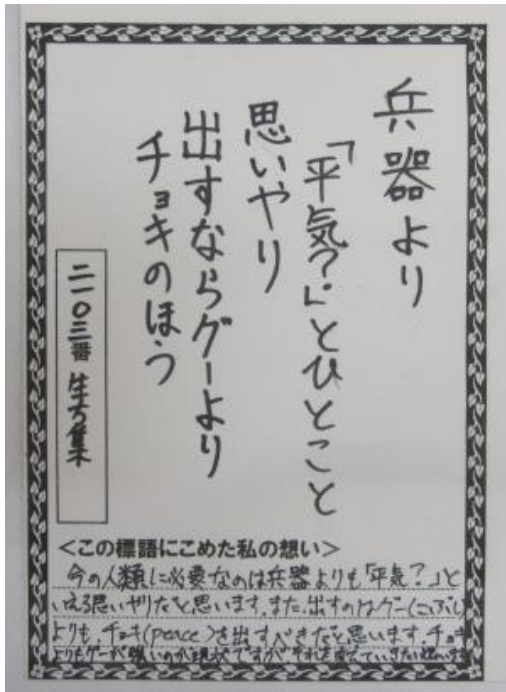


<都市型水害体験>

# 平和標語決定

2学期に行われた「平和を考える会」の準備をする中で、生徒会より「平和標語」を新たに作ろうという発案がなされました。全校生徒が一人一つ平和標語考え、その優秀作品が決定しましたので紹介します。選ばれなかったものも含め、全てが幸せを願う素敵な作品でした。

## 【最優秀賞】



兵器より「平気？」とひとこと  
思いやり  
出すならゲーよりチョコキのほう  
<2100 生方 集>

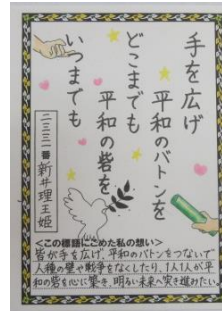
## 【優秀賞】



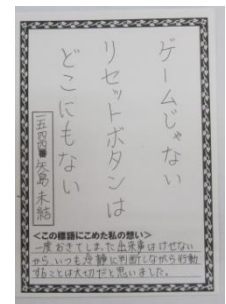
先人の歩んだ道が  
今の日々  
<3400 宗園 朋>



愛する人と笑い合う、  
この幸せを永遠に。  
<3100 神山 愛>



手を広げ  
平和のバトンをどこまでも  
平和の壷をいつまでも  
<2300 新井理王妃>



ゲームじゃない  
リセットボタンは  
どこにもない  
<1500 矢島美結>